

なじらね.jp

なじらね

春

どっとじょーびー

平成 29 (2017) 年 3 月 31 日 (金) 発行 - 第 17 号 -



- 【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 羽賀 友信 / 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500, Fax. 025-234-1002, E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子(桃水) (※「なじらね」とは、新潟弁で「元気ですか?」の意味)
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

- NAJIRANE Headlines -

- 【巻頭言】「なじらね.jp」第17号の発行に寄せて 1
【壹】平成28年度(第8回)理事・役員会の報告 2
【貳】オリジナル“新潟てぬぐい”が完成 2
【参】マラウイ共和国にソプラノリコーダーを贈ります! 2
【四】本県出身のJICAボランティア(JV & SV)が任国へ赴任!
(平成28年度2次隊, 平成28年度3次隊) 3
【五】本県出身JICAボランティアによる近況報告 4 - 6
【六】ニイガタグローバルセミナー2017 7
【七】グローバル人材セミナーin長岡 7
Information, 壮行会&慰労会, 広告, 編集後記 8

にいがた青年海外協力隊を育てる会

検索

公式ホームページ随時更新中! Check it out !!

【巻頭言】 「なじらね.jp」第17号の発行に寄せて



当会理事 (S53-2・ネパールOV)

星野 幸雄 (ほしの ゆきお)

4年ほど前から理事をさせて頂いています。理事になった理由は、上越地区に理事がいないので上越地区活性化担当として手を上げました。主に、新隊員との上越市長表敬・年2~3回ほどのボランティア活動発表会・春秋の募集説明会等を行っています。また、ネパール大地震の時には、ネパール関係者と「ナマステ募金」を立ち上げて120万円ほど送る事が出来ました。また、昨年度は協力隊50周年を記念して、青木盛久 元青年海外協力隊事務局長様をお招きし、上越市長と商工会議所会頭への表敬訪問を行いました。

私の話になりますが、青年海外協力隊・昭和53年2次隊としてネパールで1年延長して3年間、織機の活動をしました。その後、ネパールにおけるJICAプロジェクトの調整員に2年間従事しましたが、まだ何か国際協力の現場に関わりを持ちたいと思い、国際緊急援助隊医療チーム(JMTDR)の業務調整員に登録させて頂きました(現在はJDR)。海外で災害が発生しJDR派遣が決まると、ファックスで登録者に派遣要請が来ます。私はネパール以外は詳しくないので、ネパールしか参加できません。平成5年にネパールで水害が発生した際は48時間以内の緊急派遣を経験し、3年前のネパール大地震の際は職場の許可が下りず参加できませんでした。

今後もこれまでの経験を活かして、地元の上越地区で開発途上国への国際協力についての関心向上に向けて頑張っていきたいと思っています。なかなか新潟市まで足を運ぶことが出来ませんが、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

【壺】 平成28年度 理事・役員会開催の報告

11月5日(土), 16:30~17:00, じょいあす新潟会館にて「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第8回理事・役員会を開催致しました。新潟県における「JICAボランティア家族連絡会」を当会と新潟青年海外協力協会が運営するようになってから今年で8回目となります。今回をもって残念ながら羽吹理事が一身上の理由から退任されます。出来るだけ様々な人々に役員, 会員になって頂けるようにがんばります。

今後の事業として, 次のようなことを審議させて頂きました。

1. 隊員等に配布する手ぬぐいのデザインが決定させて頂きました。
2. マラウイの中山碧美隊員(青少年活動)からの物資SOSの要請に出来るだけ応えることになりました。
3. 企業向けグローバルセミナーを長岡市において2月17日に開催します。

また, 引続き協賛広告を下記のごとくお願いします。

- ・広告媒体: 機関紙「なじらね.jp」とホームページ(現在の広告数: 9社)
- ・年会費用: 10,000円(機関紙年2回, ホームページはバナー広告)

最後に, 今回も理事・役員・留守家族やOVの方々に約20部のカレンダーを購入して頂きました。大変ありがとうございました。

※参加者 会長・顧問・理事・監事 5人／ 運営委員 4人／ 委任状 8人

(文: 横山 容司郎 / 写真: 山田 規央)



【貳】 オリジナル“新潟てぬぐい”が完成

当会と新潟県青年海外協力協会のコラボで“新潟てぬぐい”を作りました。

そこに込めた想いは, 隊員たちが赴任地でふるさとに思いを馳せ, 現地の人々に対して新潟を誇れるようなものです。キャッチコピーとして考えたのが「にいがたおたがいに」です。上杉謙信公から越後新潟に脈々と伝わる“お互い様精神”を表した回文表現であり, 隊員さんたちにも任国で大切にしてほしいスピリットです。また, デザインには新潟の自然や風土も盛り込みました。起案から1年余り要しましたが, 様々な人のご協力で完成に至りました。今後, これを新隊員に激励目的で提供する他, 両会の行う事業での販売等, 多目的に活用させて頂くつもりです。

<経緯>

2015年夏頃 青年海外協力隊兵庫県OB会の手ぬぐいを入手。同年11月 理事会で提案し, 作成を進めることでした。

2016年11月 理事会で図案が了承される。

2017年1月11日 製作会社より納品。

※文字を書いてくださった藤田美枝子(桃水)さん, デザインをしてくださった坂口玲子さんに御礼申し上げます。

(文: 山田 規央 / 写真: 渡辺 松一)



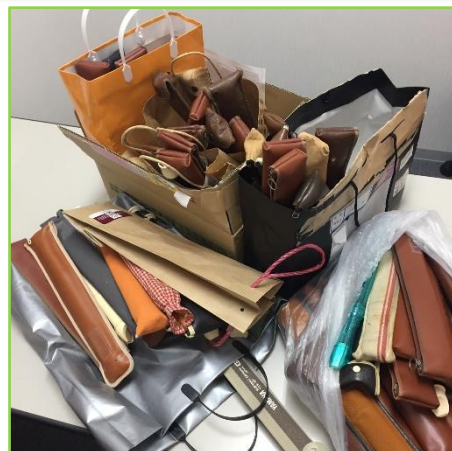
【参】 マラウイ共和国にソプラノリコーダーを贈ります！

当会に昨年SOSがあったマラウイ共和国に派遣中の青年海外協力隊・青少年活動隊員の中山碧美(なかやまたまみ/平成27年度1次隊/村上市出身)さんからの要請に応え, 2月13日~3月12日の1ヵ月間, 中古ソプラノリコーダーの募集を行ないました。

おかげさまで, 当初の目標(60本)を超える**合計81本**のご提供がありました。全てのリコーダーを消毒洗浄した後, 4月中に中山さん宛てに発送致します。現地到着後については, 後日当会HP等でお伝え致します。

ご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

(文: 山田 規央/写真: 渡辺 松一)



【四】 本県出身のJICAボランティアが任国へ赴任！ (平成28年度2次隊、平成28年度3次隊)

本県出身の青年海外協力隊(JV)・シニア海外ボランティア(SV)の平成28年度2次隊(H28-2)新隊員5人(JV 4人+SV 1人)が平成28年9月下旬に、平成28年度3次隊(H28-3)新隊員3人(JV 3人+SV 0人)が平成28年12月下旬にそれぞれの任国へ出発しました。新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に帰郷、それぞれ9月16日、12月16日に新潟県庁および新潟県国際交流協会に表敬訪問を行ない、当会からは横山事務局長が同行しました。これに併せ、直近に帰国していた本県出身隊員も同行し、帰国報告を行ないました。

毎回恒例の新隊員壮行会&帰国隊員慰労会を表敬訪問の夜に新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)と共催で実施しました。当会としては、任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます。表敬訪問に参加した各隊員を紹介します。

新隊員 (H28-2)	任国	職種
JV ①伊藤 悠理 さん	スリランカ民主社会主義共和国	ラグビー
②勝又 凌 さん	セネガル共和国	体育
③高橋 佳子 さん	パラグアイ共和国	助産師
④(匿名)	ラオス人民民主共和国	青少年活動
SV ①齋藤 芳子 さん	パナマ共和国	小学校教育

①新潟の日本の代表として、アジアのラグビー発展に貢献して参ります。

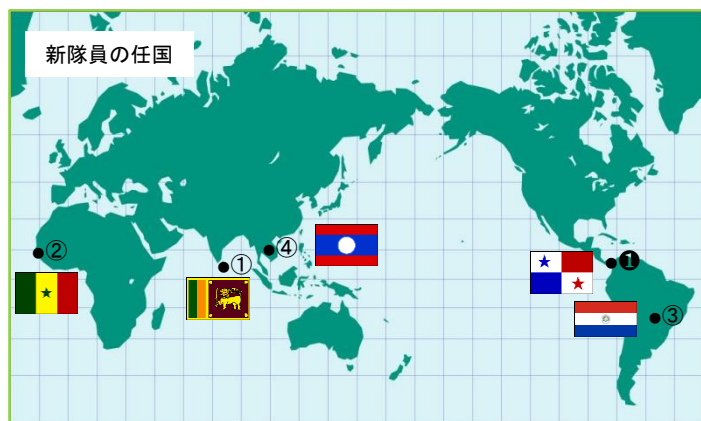
②現地の方とコミュニケーションをとりながら2年間精一杯活動していきます。

③看護、助産の質の向上のために、自分にできることを精一杯おこないたい

①空も海もつながっている・・・とにかく元気でいきます！

帰国隊員(6月帰国)

JV: 石垣 稔さん(H26-1/フィジー共和国/水産物加工) 刈屋 将志さん(H26-3/ベネズエラ・ボリバル共和国/野菜栽培)
外山 大さん(H26-1/スリランカ民主社会主義共和国/コミュニティ開発)



新隊員 (H28-3)	任国	職種
JV ①猪俣 拓 さん	タンザニア連合共和国	体育
②黒崎 美月 さん	ブータン王国	看護師
③高石 一平 さん	ザンビア共和国	青少年活動

①体育科教育の定着と2020年東京オリンピックの出場選手育成に取り組みます。

②ブータン国内の新生児看護の発展に少しでも貢献したい。

③“教育”であり“共育”であるというモチベーションで臨みたい。

帰国隊員(9月帰国)

JV: 北 愛子(H26-2/マラウイ共和国/青少年活動) 武者雅之(H26-2/パラグアイ共和国/コミュニティ開発)



廣瀬 麻衣 Ms. Mai HIROSE, JV
(平成27年度3次隊／ニカラグア共和国／青少年活動)



Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

人々は基本的に明るく親切。俗に言う“ラテンのノリ”とは異なり、少しシャイな一面もあって、親しみがもてます。そんな人々と日々関わることで感じるあたたかさ、そして任地の年がら年中の暑さを考えると、私にとってここは、とてもあたたかな場所です！

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

ニカラグアで欠かせないもの。それはダンス！各家庭、学校など、幼い頃からとにかく踊る機会が多く、音楽がかかると身体が勝手にリズムを刻みます。一緒に踊れば仲よくなれるようなところがあり、昨年参加したホームステイ先の娘の結婚式では、私も夜中まで踊り続けました。

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

小学生の放課後教室(日本でいう学童のような教室)で、手工芸、音楽、遊び、日本文化、学習指導の5分野の活動を展開しています。一週間に二つの施設を回り、昨年は特に手工芸の指導に力を入れてきました。現在は、教員向けの研修や、ニカラグア全体で実施する絵画コンクール、任地で開く予定の日本文化を紹介するお祭りを企画しています。

Q4;これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

ある子どもと保護者に「今までたくさんの手工芸を教えてくれてありがとう、すべてに感謝している。」と言ってもらえたこと、また、これまで教えてきた簡単な日本語の挨拶、遊びを、子どもたちが繰り返していたことが、とても嬉しかったです。日々の指導が子どもたちの中に残っているのだと感じられ、活動の励みになりました。

辛かったことは、やはり言葉の壁です。今でも悩まされますが、赴任当初は関係づくりもままならない中、自分の提案もしていかなければならず、スムーズに伝わらない時にはもどかしさを感じました。今ではカウンターパートに1言うと10察してくれるようになり、甘えさせてもらっています...

Q5;今後の予定や抱負を教えてください。

気づけば活動も残り一年を切りました。子どもたちへの日々の指導をより充実させるとともに、昨年から密かにやりたいと思っていた、ニカラグアの教育現場をたくさん見に行くこと、歌やダンスの指導をすること等を達成していきたいと思います。



任地で行われた馬の祭典



手工芸の指導



切り紙

遠見 翔 Mr. Sho TOMI, JV
(平成27年度4次隊／ネパール連邦民主共和国／環境教育)



Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

青年海外協力隊に参加する前、ネパール人に会う機会がありました。その方は本当に優しく純粋でした。その時に、ネパールという国に興味を持ちました。いざ、ネパールに来てみると、まさにその方と同じように、たくさんの愛情を注いでくれる方が大勢いました。人々の優しさや愛情の深さを感じることでできる国です。

任地はラムジュン郡ベシサハル市という観光拠点地で、トレッキングシーズンにはたくさんの外国人観光客を目にします。また、山奥にはまだまだ昔ながらの生活を営んでいる集落も多く、そういう方々と接してみたいと思っていた私にとって、とても刺激的な場所です。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

ベシサハル市は主に観光業で発展しており、その他の地方都市よりも比較的大きな商店街を形成しています。新しい家電や服なども揃っており、市街地は活気があります。

そのエリアから少し外れると、山岳地帯に住む人々の村が点々と存在しています。交通網が整備されておらず、現在でも人力で家畜のえさや荷物を運ぶことが多いです。上のほうに登っていくと、キレイな景色も見ることができるので、そこでホームステイができるようにと、徐々に観光向けのホームステイコミュニティが形成されつつあります。

気候的にも過ごしやすいので、現地の人々は生活にあくせくしているというより、平和にのんびりと暮らしているという印象が強いです。

Q3; あなたはどんな活動をしていますか？

ベシサハル市役所の環境課で、主に環境教育啓発活動を行なっています。これまでは学校や地域の視察、ごみ収集に同行、学校での環境教育などを行なってきました。現在は、分別回収や更なるごみ対策の一環として、まずは市役所内の環境整備から行なおうと思い、業務環境の整備等を検討しています。

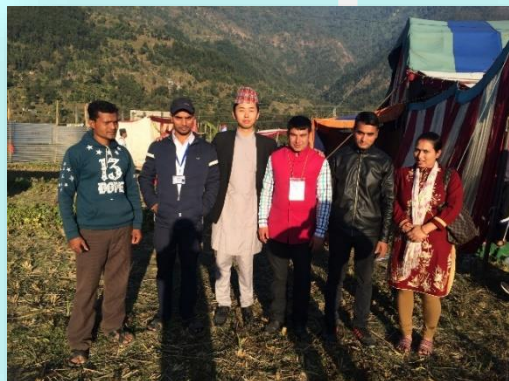
Q4; これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

嬉しかったことは、新しく赴任してきた若手の正規職員たちが、開業時間の10分前にオフィスに来て、時間通りにはじめられるよう準備をするようになったことです。同じような想いを抱いている若手職員は、私にとって非常に心強いものとなっています。

辛かったことは、来て早々の1ヶ月間、体調管理に悩まされ、おなかを下し続けていたことです。現在は落ち着いていますが、今度は逆に、急に日本食を食べると体調を崩すようになってしまいました。

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

今年は、去年から作り上げてきたネットワークを活かして、積極的に活動を提案し実行していきたいと考えています。ジャンルは環境に関わることであれば問わない予定です。抱負は、「即断即決、即実行」です。



山田 葉子 Ms. Yoko YAMADA, JV (OV)

(平成26年度3次隊 / ウガンダ共和国 / 看護師)



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

「**心**と身体が健康になる、安心できる場所」でした。外に出れば壮大な丘や山が広がり、牛やヤギが道端を歩きのんびりとした時間が流れます。夜は流れ星や天の川が見える星空がすぐ側にある自然豊かな環境でした。ウガンダの人たちはとても思いやりがあります。お金がなくてお昼が食べられない人がいれば、当然の様に自分のお昼を分け一緒に食べます。人と人の距離が近く、気にかけて見守ってくれる優しさを日々感じていました。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

停電や断水は日常茶飯事です。水道がない家も多く、家族のために井戸からポリタンクで水を運ぶのは子どもの大切な役割の1つです。火は炭でおこします。鶏は生きている物を捌き、鶏や豚も塊を購入して骨や皮は自分で取り除きます。水や電気のありがたさを実感すると共に食べ物への感謝も深まる生活でした。

Q3; あなたはどんな活動をしていましたか？

地域中核病院で病院スタッフと一緒に5S活動(整理, 整頓, 清潔, 清掃, 躰)を通じて、最終的に患者さんや訪問者の人の医療の質やサービスの質を向上させる目的で活動していました。具体的にはスタッフと病棟の看板や薬箱のラベル作成、病棟内の整理整頓をしていました。現地の病院では地図や標識がなく道に迷ってしまう患者さんも多くいました。しかし、学校に行けず英語が読めない患者さんも多いです。スタッフと相談しながら現地の言葉や写真を付けて、わかりやすくなる様に試行錯誤を重ねました。

Q4;任期中、嬉しかったこと、辛かったことは？

嬉しかったことは、一緒に病院で働いていたスタッフがまるで母の様に私を気遣ってくれたことです。赴任直後は私の健康を心配して「昨日の夕飯は食べた？何食べたの？」と毎日聴いてくれました。休日には自宅でお昼をご馳走してもらい、落ち込んでいると「私がいつも側にいるから」と支えてくれました。女性として、看護師として尊敬できる人に出会えたことが一番嬉しかったです。

辛かったことは、事前準備をしていた会議に誰も来なかったことです。ですが、後で声のかけ方を工夫するべきだった、ソーダを準備していなかった等多くの反省点が気が付き、それ以降、工夫したり周囲に相談するようにしました。

Q5;今後の予定や抱負を教えてください。

協力隊の経験を振り返り、国際協力への学びを深めるために大学院へ行く予定です。その後の進路はまだ明確ではありませんが、海外は好きなので関わりたいです。ウガンダで現地の人々が心を開いて私の居場所を作ってくれたのが嬉しかったので、日本でも孤独だったり居場所を必要としている人たちに何かしらの形で関わりたいと考えています。



【さまざまな生活文化ルポ】第12弾

任国の“防災・災害対策” ～現状と課題～

はだ たつや
現地リポーター：羽田 達矢, JV
平成27年度1次隊
フィリピン共和国
防災・災害対策



フィリピンは日本と同じく災害多発国であり、2013年11月8日に発生した台風ヨランダ(国際名:ハイヤン)の被害は6,000人以上もの死者が発生しました。毎年のように台風による被害を受けている他、2013年には地震により被害を受け、過去にも1990年に大地震がフィリピンを襲っています。そのため、任地で防災関連のセミナーを開催する際にも、基本的には関心をもって話を聞いてくれます。

2010年にフィリピンでは「災害対策基本法」ができ、それに伴い自治体において防災課を設立させることが義務付けられました。役場年間予算の5%を防災に回すという法律になっており、この点に関しては優れていると思うものの、予算内容はまだまだ要改善と思われます。セミナーの度におやつや食事が提供され、これが予算を食い潰すことに繋がり、セミナーを開催するのに一番かかる費用が食事代ということがよくあります。参加者を拘束するには食事がなくては難しいという声もあるものの、それでもかなりの費用がかかります。また、消防署にいくつか出向いたところ、良くも悪くも日本を始め、各国から消防車が寄付されても、器具愛護が疎かにも関わらず、寄付をお願いできないか？という話をよく聞きます。この辺りは、先進国側にも責任があるようにも感じます。フィリピンでは日本以上に縦社会であると同時に、自分の割り当てられた仕事さえこなせばOKという職員が多く、横の連携があまりないことも気になる点です。

このように紹介すると、全くフィリピンの防災は…という印象を受けかねないですが、英語も公用語になっており、地方においても英語が通じるため、日本のように大災害時に言葉の問題で外国人が困るということは少ないかもしれません。役場への提出書類も基本的に英語文書となっています。元々ポジティブな考えをもった国民性のため、あまり悲観的にならないというのも日本とは真逆の様にも感じますし、家族や近所との繋がりが強く、助け合う社会ができていているというのも日本では失われかけている部分かなんと思っております。何よりも女性の社会進出がアジア1と言われ、女性の意見が反映されるのも大きな利点の様に感じています。



電柱、家、木々がなぎ倒された

📍 台風ヨランダ直後のカリボ町 📍



デパートの屋根が吹き飛ばされ、残骸が建物前に落下

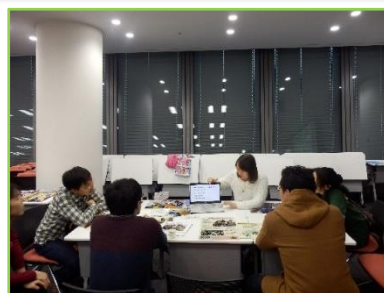
【六】 ニイガタグローバルセミナー2017（当会後援）

2月11日(土), 新潟日報メディアシップにてニイガタグローバルセミナー2017を開催し多くの方にご参加頂き, ありがとうございます。例年に引き続き, 県内のNGOと共催で, 青年海外協力隊やスタディツアーなど海外派遣プログラムを紹介するブースごとの見本市, そして5回目となる今年は前半に, お笑い芸人高橋なんぐ氏によるトークと県内在住留学生へのトークセッションを行いました。

まず高橋なんぐ氏のトークでは, ご自身の世界一周の旅での体験をもとにさまざまなエピソードを語っていただきました。笑いの絶えないあつという間の1時間でしたが, 旅先で出会った貧しい状況の子どもから「日本はどんなところ?」と聞かれて自分を通して世界を見ようとしていることに気が付いたというお話もありました。次に, スリランカ, ベトナムからの留学生, ブルキナファソからのJICA長期研修員の3名に留学のきっかけや新潟での生活, 今後の展望などをうかがいました。その後は団体ごとにブースを設置し座談会を行い, 今年はAFS日本協会新潟支部の皆さんからも出展頂きました。

共催団体の方々, OB/OGの皆さんはじめ, 参加して下さいました方々のおかげで無事終えることができました。ありがとうございます。

(文・写真: JICA新潟デスク 和田 直)



【七】 グローバル人材セミナー in 長岡（当会主催）

2月17日(金), 15:00~17:30, 長岡震災アーカイブセンター, きおくみらい多目的ホールに於いてJICAと当会の主催でグローバル人材セミナーを開催しました。後援を長岡商工会議所様や長岡産業活性化協会様, にいがた産業創造機構様, JETRO新潟様などそうそうたる機関にお願いしての開催でしたが, 残念ながら思うように参加者が集まらずちょっと寂しいセミナーとなりました。但し採用に関し今後期待出来るような案件があり成果はあったと思っています。

セミナーの内容はJICA東京による民間連携ボランティア制度の説明とグローバル人材である青年海外協力隊OVの就職先や仕事の例を披露して頂きました。その後実際にOGを採用して頂いている長岡市の企業, (株)イトラストの酒井取締役役に「協力隊経験者を採用して～グローバル時代における人事戦略～」と題して講演をして頂きました。小学校教諭としてミクロネシアに派遣されていた森嶋奈々子氏を採用して, 海外での交渉能力や外国人とのコミュニケーション能力の高さを評価されていました。また「新たに海外進出をするにあたって青年海外協力隊経験者に期待するところは大きい。」とも。

最後に, 今回のセミナー開催に当たりご尽力頂いた(社)青年海外協力隊を育てる会の奥永常任理事, 伊藤さん, JICA東京の杉村課長, 稲澤さん, JICA青年海外協力隊事務局の堀内参事, JICA新潟の和田さん, 皆様大変ありがとうございました。今後も同様のセミナーを県の国際課やERINA(環日本海経済研究所), 新潟県国際交流協会等とのコラボをしながら開催していければと思っています。

(文・写真: 事務局長 横山 容司郎)



県北からも, 青年海外協力隊を
応援しています!

ケーブル・ハーネス加工, 電装品・制御盤の組立

株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co., Ltd.

〒959-3121

新潟県村上市佐々木577

Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650

URL <http://www.koueielectric.jp>

電気が使える「あたりまえ」私たちが支えます。
電気工事, 土木工事, とび土工, 機械器具設置,
消防設備工事

胎内電建工業株式会社

〒959-2657

新潟県胎内市江上966

Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389

URL <http://tainaidenken.com>

《広告料: 年間1万円》



・ 当会ホームページ
・ 「なじらね.jp」

- INFORMATION -

1. 平成29年度JICAボランティア募集のご案内

平成29年3月31日(金)～5月10日(水)の期間、青年海外協力隊(20-39歳)、シニア海外ボランティア(40-69歳)の志願者の募集が行なわれます。応募に関する詳細は、下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認ください。

《体験談&説明会》◆新潟会場：平成29年4月16日(日)14:00～ 新潟日報メディアシップ6階 ナレッジルーム

◆長岡会場：平成29年4月22日(土)14:00～ 長岡市国際交流センター・地球広場

◆上越会場：平成29年4月27日(木)18:30～ 上越市市民プラザ

【お問い合わせ】 JICA新潟デスク・和田さん Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122, JICA公式HP <http://www.jica.go.jp>

2. 平成29年度にいがた青年海外協力隊を育てる会・総会のご案内

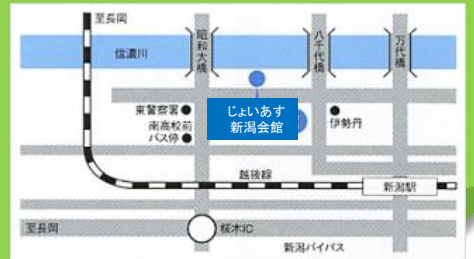
日時：平成29年6月17日(土)、15:00～(予定)

会場：じよいあす新潟会館 3階ぼたん ⇒

(新潟市中央区幸西3-3-1 Tel. 025-247-9307)

内容：昨年度の活動報告と今年度の活動方針、帰国隊員報告会、公開講演会(野毛坂グローバル 奥井利幸氏)、懇親会(お一人5千円)

【お問い合わせ】 当会事務局まで(会員には後日ご案内を郵送)



新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回(3月、6月、9月、12月)開催。案内はMLで配信！



(写真：横山 容司郎, 渡部 悟)

協大賛募広集告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています！
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社 **ABC**
〒955-0814
新潟県三条市金子新田1691-5
Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462
URL <http://www.abc-tool.co.jp>

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！



新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社
代表取締役 大野 修
〒950-0114
新潟県新潟市江南区茗荷谷711
Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

感動と夢、そして感謝



21世紀の生涯学習を推進する
株式会社アルファブライト
〒950-2012
新潟県新潟市西区小針台1-15
Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002
URL <http://alpha-bright.co.jp>

協賛広告
募集中！

世界にはばたこう、日本の心！

そやま接骨院
院長 楚山 恭男

〒940-1165
新潟県長岡市水梨町1106-15
Tel. & Fax. 0258-22-3654

静かな森と美しい庭園
かん すい ろう
新潟五頭温泉郷 村杉温泉 **環翠楼**
〒959-1928
新潟県阿賀野市村杉温泉
Tel. 0250-66-2131
Fax. 0250-66-2553
URL <http://kansuirou.jp>



任地の展望台から (廣瀬麻衣さん)

このたび、当会オリジナルの手拭いができました。新潟らしい、とても素敵なデザインだと思います。「にいがたおたがいに」は私のモットー—という基本精神みたいなものですが、協力隊の精神とも合致すると思い、盛り込むことを提案させて頂きました。昨今、「グローバル」という言葉をよく聞きます。この手ぬぐいが世界中に羽ばたいていくこともまた、グローバルなのかな～なんて思います。今年の総会記念講演は、グローバルがテーマです！ (พรทิพย์)